



【ハッピー・スクール・ライフ】

Vol. 2 国立音楽院

[kma.co.jp] ☎ 0120-987-349

城山明日香さん 井下田彩香さん



すべてが自由でバリアフリーな環境で 大好きなエレクトーンを学んでいます！

かつて、レコード会社フォーライフだったこの建物。屋上からの眺めも抜群です。

エレクトーンを学べる学校におじゃまして、スクールライフを楽しむ学生さんをご紹介します。第2回目は、渋谷から東急田園都市線で池尻大橋と三軒茶屋の間、三宿にある国立音楽院にうかがいました。ライブ前のリハーサルで忙しいなか、城山明日香さんと井下田彩香さんのおふたりが出迎えてくれました。

7月21日の「年に3回行われるライブの第1弾『サマーLIVE』に向けて、リハーサル中のエレクトーン履修生。ライブのレポートは、95ページに掲載。



春先に学生の集いの場「オアシス」で行うライブの様。このライブでエレクトーンに触れて学びはじめたのが、井下田さん。1年後には自分が出演した。

川田祐子先生(中央)はふたりの元気の源、憧れの存在です。



HAPPY SCHOOL LIFE



国立音楽院の外観。型違った建築の学舎は、吉田拓郎、井上陽水などが設立した(株)フォーライフ・レコードだった。地下の「KMパライズホール」など設備が充実し、音楽環境は抜群。

オープンな行まいが学院の雰囲気を表しているような、道路に面したテラス。



1階の「オアシス」。広々としていて、清潔感あふれる集いの場だ。



「サマーLIVE」より。ふたりのアンサンブルはダンスあり、コントありの「ぶっ飛び」エンターテインメント！



城山明日香さん



(しろやま・あすか) 現在、国立音楽院高等部3年生。小さいころからエレクトーンを始め、小学校高学年から不登校になってしまいが「エレクトーンを勉強したい」という気持ちは強く、国立音楽院高等部へ入学。川田祐子先生の温かい指導とエレクトーン大好き！という熱意のもと、学院のステージはもとより、エレクトーンフェスティバルでも活躍している。今後はシステム講師を目指し、高等部からエレクトーン科に進学予定。

東京の音楽学校、三宿にある国立音楽院でエレクトーンを学ぶふたり、城山明日香さんと井下田彩香さん。片や高等部3年生、片や結婚2年目のミス。年齢はひと回り違う辰年生まれベアだが、エレクトーン演奏での先輩は、城山さんなのだ。「私、エレクトーンのスイッチを入れたのが、こちらに入学してからなんです。入学したてのころ、学院のオアシスでエレクトーン科のおぎたひろゆき先生や学生たちがライブをやっていて、たまたま見ていたら、明日香ちゃんがゴリゴリのベースラインのすごい曲を演奏していて、衝撃でした。あの女の子なんだかカッコいい！」ということから、エレクトーンの授業に加わったんです」(井下田) ピアノ演奏科に入学した井下田さんはオープンシラバスという、学院内で科をまたいで自分の履修したい授業を自由に受けられる仕組みを使いエレクトーン科の授業を履修。川田祐子先生の

指導のもと、すっかりエレクトーンに夢中になり、3ヵ月後にはエレクトーン科に転科を決めた。「明日香ちゃんといつか話ができるかな、と思っていたのが、こんなに仲良くしてもらって私ほうれしい」と井下田さん、城山さんは、「こちらこそ。本当に井下田さん、成長ぶりがすごいです、熱意もあるし、一緒に演奏していて楽しいんです！」と答える。ふたりでアンサンブル演奏も行う素敵な仲間になった。国立音楽院らしい出会いがまさにここにある。井下田さんは昨年の秋にはグレード6級を取得。現在は5級を受験中。国立音楽院はあらゆる面で、バリアフリー。中等部のローティーンから、主婦や社会人、定年を迎えた人、障がいを持ちながらも好きな音楽を学びたいという人、誰にでも門戸は広く開けられている。城山さんは高等部で学んで3年目、「自分で調べて、高校卒業の資格も得られるとわかり、川田先生も存じ上げていたので、エレクト-

ーンを学びたくて入学しました」(城山) ちなみに城山さんはミュージカルやダンスも履修しているのだそう。普段はもの静かなイメージだが、ステージに立つと個性的で、表現力豊かな演奏にキレキレのダンスも披露する。**先生方の「大丈夫だよ！」の言葉に支えられています** 国立音楽院では、川田先生とおぎたひろゆき先生のエレクトーン関連授業が6コマある。川田先生の授業は、それぞれの演奏をお互いに聴き合う授業と、自作・自編曲の授業(これもお互いに聴き合う)、そしてグレード対策、即興演奏などを学ぶ。「高校生も研究科の先輩方も全員一緒に、演奏を聴くこと自体が勉強になっています。入学したては、先輩方すごいなあ、自分もそうなりたと思って一生懸命練習をしようと思いました。先生たちがとてもいいに支えてくださり、演奏家とし

ての体験談などほかでは聞けない話も聞け、勉強になります」(城山) 個人レッスンは、それぞれが弾きたい曲をもちよる。「何しろ初心者だったので、最初は弾ける曲、どれなら弾けそうかという曲を選んでいったのが、弾きたい曲に自分を持っていく方向に変えられたのは成長できたのかな、と勝手に自分で思っているところなんです。いいサイクルを先生に作ってもらっている気がします」(井下田) とにかく、エレクトーンが大好き！というふたり。これからの活躍が楽しみです。



井下田彩香さん

(いげた・あやか) 幼いころからピアノを始め、中高ではオーケストラ、大学ではバンドでギターとボーカル、さらに、ギター弾き語りのライブ活動も行う。その後ケーキ屋アルバイトから店長職、システムエンジニアを経て、昨年、結婚退職と同時に、音楽の仕事をしたいという想いで、国立音楽院ピアノ演奏科に入学。入学直後にエレクトーンに出会い、川田先生の授業を選択。その夏の「サマーLIVE」に出演後、エレクトーン科に転科。現在に至る。